

アスペクトというのは文章中の動作表現がどの局面・段階・状態を表しているかということです。
動作にはその直前・開始・最中（継続、進行中）・終了・完了・結果といろいろの局面があります。
「～したところ」とか「～しているところ」というような表現形式です。

「て形」に繋がる表現形式が多いですが「て」につながらないものもあります。「食べ始める」とか。

「て」に繋がる場合の「て」の後の動詞を「補助動詞」と言います。

アスペクトの局面では（～ている、～てある、～ておく、～ていく）など7つあります。

間違いやすい例

1) ～ている、～てある

●日本旅館にやってきた留学生

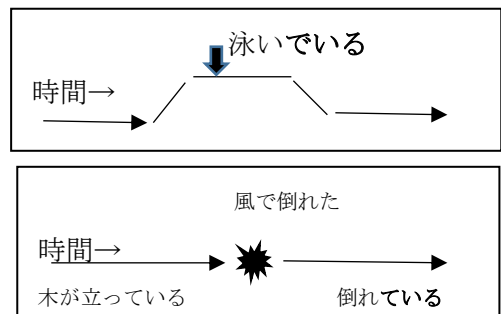
- A 「池で鯉が泳いである」 X →→→→→→→→→→ 「泳いでいる」
 B 「庭に木が倒れてある」 X →→→→→→→→→→ 「倒れている」
 C 「お客さんはもう夕食を食べてある」 X →→→→→ 「食べている」
 D 「きれいな花が飾っている」 X →→→→→→→→→→ 「飾ってある」
 E 「床の間に立派な掛け軸が掛けている」 X →→→→→ 「掛けてある」
 or →→→→→ 「掛かっている」

どうして間違いですか？ どのようなルールがありますか？

ルール（文法）を説明し、ルールから正しい言い方を導くように指導する必要があります。

動詞の2種類

- ① 継続動詞 泳ぐ、食べる、書く、など
動作に一定の時間がかかるもの
② 瞬間動詞 倒れる、掛ける、消す、など
ほとんど瞬間で動作が終わるもの



「ている」の用法（初級段階）：

継続動詞の「ている」は、動きの継続・進行を表す。（英語でいわゆる進行形）

例文 子供が外で遊んでいる。（自動詞）

子供が歌を歌っている。（他動詞）

瞬間動詞の「ている」は、動きの結果の状態を表す。

例文 窓が開（あ）いている。（自動詞）

石田さんは帽子をかぶっている。（他動詞）

「てある」の用法： 瞬間動詞の意図的な「動きの結果の状態」を表す。

例文 窓が開（あ）けてある。

A 「泳ぐ」は①の継続動詞、「動きの継続・進行」を表しているので「泳いでいる」が正しい。

ここでは音便で「でいる」になる。

B 「倒れる」は②の瞬間動詞で「動きの結果の状態」を表しているので「倒れている」が正しい。

C 「食べる」は①の継続動詞で「動きの継続・進行」を表しているので「食べている」が正しい。

D 「飾る」は②の瞬間動詞で意図的な「動きの結果の状態」を表しているので「飾ってある」が正しい。

音便で「飾てある」になる。

E「掛ける」は②の瞬間動詞で意図的な「動きの結果の状態」を表わしたいなら「掛けてある」。

または特に意図的でないなら「掛かる」という自動詞を使って「掛かっている」でも可。(音便注意)

●夏の暑い日に息せき切って帰宅したご主人 「ただ今！ビールは？」

奥さん 「冷蔵庫に冷やしてあるわよ」 or 「冷蔵庫に冷えているわよ」 どちらも正しいけれど微妙にニュアンスが違う。どう違う？

冷やしてある————「意図的な動きの結果の状態」

私がわざわざ意図的に冷やしておいたわよ、と強調

冷えている————「動きの結果の状態」

誰がやったかは不明、意図的でない、とにかく冷えてる

●やっとお目当ての日本旅館に着いた留学生が二階を見上げて、「あ、窓が開（あ）いている！」

先生 「新鮮な空気を入れるため、皆さんのためにわざわざ開けてあるのよ。」

開（あ）く →→→ 瞬間動詞、ただ窓が開いていることを表現

「動きの結果の状態」 →→→→だから「ている」

開ける →→→ 宿の女将がお客様のために、気持ち良く過ごしてもらうためにわざわざ意図的に開けておいた。

「意図的な動きの結果の状態」 →→→→だから「てある」

「ている」「てある」の意味・用法は、動詞の区分とも絡んで複雑で学習者も間違いやすいので各自整理しておきましょう。(継続動詞か瞬間動詞か、意図的かそうでないか)

2) ～ておく

「おく」という動詞も「て」に続くと補助動詞となって、本来の「物をどこかに置く」という意味とは異なる意味を持ちます。

●「このポスターは日曜の朝8時まで貼っておく。」

この場合は「まで」という副詞と一緒に「ずーっと日曜の朝8時まで継続して貼っておく」という意味になります。英語では **till 8:00 AM Sunday morning**

●「このポスターは日曜の朝8時までに貼っておく。」

こちらは「日曜の朝8時までに準備して貼っておきます」ということで、朝8時には完了しています。英語では **by 8:00 AM Sunday morning** ということになります。

この様に「～ておく」は、継続と準備の意味があります。

「8時までに貼っておく」とポイントが明確なら分かり易いが「金曜までに貼っておく」のように幅を持った表現だと、金曜の午前0時までに貼っておくのか、金曜の23時59分までに貼っておくのか不明確。

動詞はその切り口によっていろいろの種類に分けられます。ここでは継続動詞か瞬間動詞の区分が大切。動詞の使われ方が、その種類によって異なることがあるのでこれら区分が重要になってきます。

以 上